



# Catalyst 2960 スイッチ show platform コマンド

---

ここでは Catalyst 2960 スイッチ用に作成または変更されている **show platform** イネーブル EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカルサポート担当者の指示に従ってください。

# show platform acl

プラットフォーム依存型 Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics asic-number | usage
asic-number [summary] | vlan vlan-id} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>interface</b> <i>interface-id</i>	指定されたインターフェイスについて、インターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスは物理インターフェイスまたは VLAN (仮想 LAN) になることができます。
<b>label</b> <i>label-number</i> [ <b>detail</b> ]	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>label-number</i> 範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> — (任意) ACL マネージャ ラベル情報を表示します。</li> </ul>
<b>statistics</b> <i>asic-number</i>	Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>asic-number</i> は、0 または 1 のいずれかのポート ASIC 番号です。
<b>usage</b> <i>asic-number</i> [ <b>summary</b> ]	Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 単位の ACL 使用状況情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>summary</b> — (任意) 使用状況情報の概要を表示します。</li> </ul>
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。指定できる <i>vlan-id</i> 範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform backup interface

Flex Link コンフィギュレーションで使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include} expression]
```

### 構文の説明

<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたはポート チャネルを指定できます。
<b>dummyQ</b>	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンドモード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

### 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform etherchannel

プラットフォーム依存型 EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>flags</b>	EtherChannel ポート フラグを表示します。
<b>time-stamps</b>	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンド モード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform forward

ハードウェアが指定されたパラメータと一致するフレームを転送する方法を指定するには、インターフェイスの **show platform forward** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [sap | snap] [cos cos]
[ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type icmp-code | igmp
igmp-version igmp-type | sctp src-port dst-port | tcp src-port dst-port flags | udp src-port dst-port}]
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<i>interface-id</i>	タイプ、ポート番号などの入力物理インターフェイス。スイッチがパケットを受信するポート
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN (仮想 LAN) ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。ID を指定せず、入力インターフェイスがルーティングされたポートでない場合、デフォルト値は 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC (メディア アクセス制御) アドレス
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用するレイヤ 3 プロトコル。番号は 0 ~ 65535 です。
<b>sap</b>	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセス ポイント) カプセル化タイプ
<b>snap</b>	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP) カプセル化タイプ
<b>cos</b> <i>cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
<b>ip</b> <i>src-ip dst-ip</i>	(任意、IP パケットの場合は必要) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス
<b>frag</b> <i>field</i>	(任意) 断片化した IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>dscp</b> <i>dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Services Code Point (DSCP) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) で、89 は Open Shortest Path First (OSPF) を示します。プロトコルが TCP、UDP、Internet Control Message Protocol (ICMP)、または Internet Group Management Protocol (IGMP) の場合には、数値ではなく対応するキーワードを使用する必要があります。
<b>icmp</b> <i>icmp-type icmp-code</i>	ICMP のパラメータ。 <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> の指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
<b>igmp</b> <i>igmp-version igmp-type</i>	IGMP のパラメータ。 <i>igmp-version</i> の指定できる範囲は 1 ~ 15 で、 <i>igmp-type</i> の指定できる範囲は 0 ~ 15 です。
<b>sctp</b> <i>src-port dst-port</i>	Stream Control Transmission Protocol (SCTP) のパラメータ。SCTP の送信元ポートおよび宛先ポートの範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>tcp</b> <i>src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ。ヘッダーの TCP フラグ バイトの TCP 送信元ポート、宛先ポート、および数値。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。フラグ範囲は 0 ~ 1024 です。
<b>udp</b> <i>src-port dst-port</i>	UDP のパラメータ。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> の指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## ■ show platform forward

コマンドモード    イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

**使用上の注意事項**    このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

**例**    たとえば、**show platform forward** コマンド出力表示やコマンドの意味については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」を参照してください。

# show platform ip igmp snooping

プラットフォーム依存型 Internet Group Management Protocol (IGMP) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group ip-address
| hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
<b>control [di]</b>	IGMP スヌーピング制御エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>di</b> — (任意) IGMP スヌーピング制御宛先インデックス エントリを表示します。</li> </ul>
<b>counters</b>	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
<b>flood [vlan vlan-id]</b>	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>vlan vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>group ip-address</b>	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここでは、 <i>ip-address</i> がグループの IP アドレスです。
<b>hardware</b>	ハードウェアにロードされる IGMP スヌーピング情報を表示します。
<b>retry [count   local [count]   remote [count]]</b>	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) 再試行カウントのみを表示します。</li> <li><b>local</b> — (任意) ローカル再試行エントリを表示します。</li> </ul>
<b>remote [count]</b>	リモートエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b> — (任意) リモートカウントのみを表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform layer4op

プラットフォーム依存型レイヤ 4 オペレータ情報を表示するには、**show platform layer4op** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | pacl [port-asic] | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>acl</b>	Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。
<b>pacl</b> [ <i>port-asic</i> ]	ポート ACL レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>port-asic</i> — (任意) ポート Application Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け IC) 番号を表示します。</li> </ul>
<b>qos</b> [ <i>port-asic</i> ]	Quality of Service (QoS; サービス品質) レイヤ 4 オペレータ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><i>port-asic</i> — (任意) QoS ポート ASIC 番号を表示します。</li> </ul>
<b>and-or</b>	AND-OR レジスタ情報を表示します。
<b>map</b>	選択マップ情報を表示します。
<b>or-and</b>	OR-AND レジスタ情報を表示します。
<b>vcu</b>	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



## show platform mac-address-table

プラットフォーム依存型 MAC（メディア アクセス制御）アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** ユーザ EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address] [vlan
vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

### 構文の説明

<b>aging-array</b>	(任意) MAC アドレス テーブル エージング配列を表示します。
<b>hash-table</b>	(任意) MAC アドレス テーブルのハッシュ テーブルを表示します。
<b>mac-address</b> <i>mac-address</i>	(任意) MAC アドレス テーブルの MAC アドレス情報を表示します。ここでは、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	(任意) 指定された VLAN（仮想 LAN）の情報を表示します。指定できる範囲は、1 ～ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンドモード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

### 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform messaging

プラットフォーム依存型アプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf [class-number]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>application</b> [incoming   outgoing   summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>incoming</b> — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。</li> <li>• <b>outgoing</b> — (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報のみを表示します。</li> <li>• <b>summary</b> — (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。</li> </ul>
<b>hipperf</b> [class-number]	送信ハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。このクラス番号のハイパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform monitor

プラットフォーム依存型 Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>session</b> <i>session-number</i>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform mvr table

プラットフォーム依存型 Multicast VLAN Registration (MVR) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [| {begin | exclude | include} expression]
```

### 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンドモード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

### 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform pm

プラットフォーム依存型ポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} | if-numbers |
link-status | platform-block | port-info interface-id | vlan {info | line-state}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>counters</b>	モジュール カウンタ情報を表示します。
<b>group-masks</b>	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
<b>idbs {active-idbs   deleted-idbs}</b>	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>active-idbs</b> — アクティブな IDB 情報を表示します。</li> <li><b>deleted-idbs</b> — 削除およびリークされた IDB 情報を表示します。</li> </ul>
<b>if-numbers</b>	インターフェイス番号情報を表示します。
<b>link-status</b>	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
<b>platform-block</b>	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
<b>port-info interface-id</b>	指定されたインターフェイスのポート管理および動作フィールドを表示します。
<b>vlan {info   line-state}</b>	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>info</b> — アクティブ VLAN の情報を表示します。</li> <li><b>line-state</b> — ラインステート情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

**stack-view** キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングには表示されていますが、サポートされていません。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート ASIC（特定用途向け IC）レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic number]] |
  dest-map index number |
  etherchannel-info [asic number | port number [asic number]] |
  exception [asic number | port number [asic number]] |
  global-status [asic number | port number [asic number]] |
  learning [asic number | port number [asic number]] |
  mac-info [asic number | port number [asic number]] |
  mvid [asic number] |
  packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
  port-info [asic number | port number [asic number]] |
  prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
  receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]] |
  span [vlan-id [asic number]] | [asic number]
  stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic number]] |
  transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic number]]
  vct [asic number | port number [asic number]]
  version}[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>cpu-queue-map-table</b> [asic number   port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。</li> </ul>
<b>dest-map index number</b>	指定されたインデックスの宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。
<b>etherchannel-info</b> [asic number   port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ～ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>exception</b> [asic number   port number [asic number]]	例外インデックス レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> —（任意）指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> —（任意）指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ～ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>global-status</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>learning</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>ラーニング キャッシュのエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mac-info</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>MAC (メディア アクセス制御) 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mvid</b> [ <i>asic number</i> ]	<p>マッピングされた VLAN (仮想 LAN) ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>packet-info-ram</b> [ <i>asic number</i>   <i>index number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定されたパケット RAM インデックス番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>prog-parser</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	<p>プログラム可能なパーサ テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>receive</b> { <b>buffer-queue</b>   <b>port-fifo</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>buffer-queue</b> — バッファ キュー情報を表示します。</li> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO 情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>span</b> [ <b>vlan-id</b>   <b>asic number</b> ]	<p>Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>vlan-id</b> — (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>stats</b> { <b>drop</b>   <b>enqueue</b>   <b>miscellaneous</b>   <b>supervisor</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>ポート ASIC の生の統計情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>drop</b> — 削除統計情報を表示します。</li> <li>• <b>enqueue</b> — エンキュー統計情報を表示します。</li> <li>• <b>miscellaneous</b> — その他の統計情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor</b> — スーパーバイザ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>transmit</b> { <b>port-fifo</b>   <b>queue</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-fifo</b> — ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>queue</b> — キュー情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> — スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>vct</b> [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>指定された ASIC、または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> — (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>version</b>	ポート ASIC のバージョンおよびデバイス タイプ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。



<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

**stack** {**control** | **dest-map** | **learning** | **messages** | **mvid** | **prog-parser** | **span** | **stats** [*asic number* | *port number* [*asic number*]] キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtring には表示されていますが、サポートされていません。

**コマンドモード**

イネーブル EXEC

**コマンド履歴**

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

**使用上の注意事項**

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-security

プラットフォーム依存型ポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform qos

プラットフォーム依存型 Quality of Service (QoS; サービス品質) 情報を表示するには、**show platform qos** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos {label asic number | policer {parameters asic number |
port alloc number asic number}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

### 構文の説明

<b>label asic number</b>	指定された ASIC (特定用途向け IC) の QoS ラベル マップを表示します。  (任意) <b>asic number</b> の場合、指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
<b>policer {parameters asic number   port alloc number asic number}</b>	ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>parameters asic number</b> — 指定された ASIC のパラメータ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li><b>port alloc number asic number</b> — 指定されたポートおよび ASIC のポート割り当て情報を表示します。ポート割り当て範囲は 0 ~ 25 です。ASIC 範囲は 0 ~ 1 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

### コマンド モード

イネーブル EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

### 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform resource-manager

プラットフォーム依存型リソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] | mad [index number] |
med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] | mac-address mac-address [vlan
vlan-id]} | sd [index number] | vld [index number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>dm [index number]</b>	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>erd [index number]</b>	指定されたインデックスの等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mad [index number]</b>	指定されたインデックスの MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>med [index number]</b>	指定されたインデックスのマルチ拡張記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mod</b>	リソースマネージャ モジュール情報を表示します。
<b>msm {hash-table [vlan vlan-id]   mac-address mac-address [vlan vlan-id]}</b>	MAC (メディア アクセス制御) アドレス記述子テーブルおよびステーション記述子テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>hash-table [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN または指定された VLAN のハッシュ テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> <li><b>mac-address mac-address [vlan vlan-id]</b> — すべての VLAN または指定された VLAN に対する 48 ビット ハードウェア アドレスで表される指定された MAC アドレスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>sd [index number]</b>	指定されたインデックスのステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>vld [index number]</b>	指定されたインデックスの VLAN (仮想 LAN) リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> — (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード    イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

**使用上の注意事項**    このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform snmp counters

プラットフォーム依存型 SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

**show platform snmp counters** [| {**begin** | **exclude** | **include**} *expression*]

構文の説明	
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

コマンドモード    イネーブル EXEC

コマンド履歴	リリース	変更内容
	12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

**使用上の注意事項**    このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform spanning-tree

プラットフォーム依存型スパニングツリー情報を表示するには、**show platform spanning-tree** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<b>synchronization</b> [ <b>detail</b>   <b>vlan</b> <i>vlan-id</i> ]	スパニングツリー ステート同期情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>detail</b> — (任意) スパニングツリー情報の詳細を表示します。</li> <li>• <b>vlan</b> <i>vlan-id</i> — (任意) 指定された VLAN (仮想 LAN) の VLAN スイッチ スパニングツリー情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカルサポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカルサポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform stp-instance

プラットフォーム依存型スパニングツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<i>vlan-id</i>	指定された VLAN（仮想 LAN）のスパニングツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ～ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform tcam

プラットフォーム依存型 Ternary CAM (TCAM) ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | local | mac-address | qos | station |
vlan-list} | usage} [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num
number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin
| exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail
[invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid
| num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [ [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] |
invalid | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

構文の説明		
<b>handle number</b>		TCAM 処理を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 4294967295 です。
<b>log-results</b>		TCAM ログ結果を表示します。
<b>table {acl   all   local   mac-address   qos   station   vlan-list}</b>		ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>acl</b> — Access Control List (ACL; アクセス制御リスト) テーブルを表示します。</li> <li>• <b>all</b> — TCAM テーブルをすべて表示します。</li> <li>• <b>local</b> — ローカル テーブルを表示します。</li> <li>• <b>mac-address</b> — MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブルを表示します。</li> <li>• <b>qos</b> — Quality of Service (QoS; サービス品質) テーブルを表示します。</li> <li>• <b>station</b> — ステーション テーブルを表示します。</li> <li>• <b>vlan-list</b> — VLAN (仮想 LAN) リスト テーブルを表示します。</li> </ul>
<b>usage</b>		CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用方法を表示します。



[[asic number [detail [invalid]]   index number [detail [invalid]]   invalid   num number [detail [invalid]]   invalid]   [invalid]]   [invalid]   [num number [detail [invalid]]   invalid]]	<p>情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> — 指定された ASIC デバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 15 です。</li> <li>• <b>detail [invalid]</b> — (任意) 有効または無効な詳細を表示します。</li> <li>• <b>index number</b> — (任意) 指定された TCAM テーブル インデックスの情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。</li> <li>• <b>num number</b> — (任意) 指定された TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ～ 32768 です。</li> </ul>
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。



(注)

ipv6、equal-cost-route、multicast-expansion、および secondary キーワードは、コマンドラインのヘルプストリングには表示されていますが、サポートされていません。

#### コマンドモード

イネーブル EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

#### 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform vlan

プラットフォーム依存型 VLAN（仮想 LAN）情報を表示するには、**show platform vlan** イネーブル EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {misc | mvid | prune | refcount | rpc {receive | transmit}} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>misc</b>	その他の VLAN モジュール情報を表示します。
<b>mvid</b>	Mapped VLAN ID（MVID）割り当て情報を表示します。
<b>prune</b>	プラットフォーム保持プルーニング データベースを表示します。
<b>refcount</b>	VLAN ロック モジュールのようなリファレンス カウントを表示します。
<b>rpc {receive   transmit}</b>	Remote Procedure Call（RPC）メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>receive</b> — 受信した情報を表示します。</li> <li><b>transmit</b> — 送信した情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	（任意） <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	（任意） <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	（任意）指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の式です。

## コマンドモード

イネーブル EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更内容
12.2(25)FX	このコマンドが追加されました。

## 使用上の注意事項

このコマンドを使用するのは、シスコのテクニカル サポート担当者とともに問題のトラブルシューティングを行う場合に限定してください。テクニカル サポート担当者の要請がない場合、このコマンドは使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。